



IBARAKI TOYOPET
RACING TEAM

K-TAI 2018 もてぎ KART 耐久フェスティバル

スタート直後に燃料系、メーター系のトラブルに見舞われるも
その後の追い上げで、67 位 (#700) / 68 位 (#180) でフィニッシュ



TWIN RING MOTEGI 開催概要】

“K-TAI”：8 月 5 日（日）栃木県

会場：ツインリンクもてぎ(<http://www.twinring.jp/>)

曇り 7 時間耐久 (122 台出走)

チーム代表/総監督：幡谷 俊一郎

監督兼メカニック：石川 一郎

参戦チーム：

■IBARAKI TOYOPET RT1「180 号車」ドライバー 7 名
予選 41 番手（抽選）／決勝 68 位（122 台出走）

- A ドラ：阪本 知洋（第 3 営業部）
- B ドラ：岡野 昭夫（土浦並木店）
- C ドラ：池戸 誉（水戸千波店）
- D ドラ：鈴木 優貴（つくば学園の森店）
- E ドラ：大里 健太（レクサスつくば）
- F ドラ：梅原 秀和（レクサス CPO つくば）
- G ドラ：荒井 智博（つくば東大通り店）

■IBARAKI TOYOPET RT2「700 号車」ドライバー 8 名
予選 87 番手（抽選）／決勝 67 位

- A ドラ：高橋 雄大（つくば西大橋店）
- B ドラ：岩間 慎也（大津港店）
- C ドラ：岡本 浩一（営業支援部）
- D ドラ：中西 義徳（牛久南店）
- E ドラ：石黒 泰介（つくば東大通り店）
- F ドラ：橋本 一哉（営業支援部）
- G ドラ：井坂 信弥（土浦並木店）
- H ドラ：井坂 晃裕（土浦並木店）



「茨城トヨペットレーシング」が社員ドライバーで挑む、「2018 もてぎ KART 耐久フェスティバル“K-TAI”」の舞台は、1 周 4.8013km のツインリンクもてぎロードコース。その決勝が 8 月 5 日（日）に行われた。今回、茨城トヨペットは 2 台体制で、7 人チームと 8 人チームの計 15 名がドライバーとして“K-TAI”初参戦。

2018“K-TAI”ですが、エントリーは、クラスⅠが 11 台。クラスⅡが 111 台の合計 122 台が参加。国内最大規模のカート耐久イベントとあって参加人数が凄い。ドライバーだけでも 500 人以上！もちろんレース前のドライバーズブリーフィングは、部屋には入りきれずピットレーンでブリーフィングを実施。

“K-TAI”は、初心者からヘビーユーザーまで楽しめるカートイベントとあって、ドライバーは、初めてレースに参加する方から、プロドライバーまで、また老若男女を問わず、幅広い世代のドライバーが参加している。中にはスーパー耐久や GR86／BRZ Race で良く見かけるプロドライバーの姿も...

日曜日のツインリンクもてぎは天候にも恵まれ...というより、気温は 38 度超え、路面温度も 55 度超えと真夏の暑さの中での戦いとなった。

9 時 30 分、2 グループに分かれてローリングスタートで 7 時間後のゴールを目指して、122 台がコントロールラインを通過。スタートと共にファイブワイドで 1 コーナーへと飛びこんで行きます！

スタートを決めて、一気に順位を上げたい【#180 RT1 阪本選手】でしたが、2 周目に燃料系のトラブルで緊急ピットイン！しかし、原因はすぐに突き止められ【#180 RT1】はダイヤフラムを交換、ドライバー

も【荒井選手】に交代しピットアウト。今大会はピットインの際、「ドライバー交代」「給油」等の有無にかかわらず、5分間のピットストップが義務付けられている。

3周目、予定通り【#700 RT2 高橋選手】がピットインし給油。レギュレーションで1回のピットインで給油できるのは2リットルとまでとなっている。ドライバーも【岡本選手】に交代、この時、メーター系にトラブルが発生するも迅速に対応しピットアウト。

その後、順調に周回を重ね、【#180 RT1 は荒井選手から岡野選手→鈴木選手→大里選手】へとドライバー交代。【#700 RT2 も高橋選手から岩間選手→石黒選手→中西選手】へとドライバー交代。12時00分、日差しが強くなり気温38℃、炎天下で40℃超え、路面温度56℃へ上昇。

各車ピットインを繰り返し2時間30分が経過時点での順位は、車両トラブルもあり【#180 RT1】が101番手、【#700 RT2】が81番手を走行。

その後、スタートから2時間45分が経過するころ、第5コーナーにストップした車両を撤去するために、セーフティーカーが導入される。【#180 RT1 大里選手】はタイミングが合わずステイ。【#700 RT2】は丁度ピットイン時にセーフティーカーが導入された為、給油し【#700 RT2 中西選手から橋本選手】へドライバー交代。約15分のフルコースコースションのあと、12時30分にリスタート。各チーム作戦変更を余儀なくされ、中盤に向けての展開に注目が集まる。その後、【#180 RT1 は大里選手から池戸選手】へ【#700 RT2 は橋本選手から井坂(信)選手】へドライバー交代。

スタートから4時間が経過したところ。日差しが照り付け、ドライバー・チームスタッフにとって過酷な時間帯に、V字コーナー立ち上がりで、5台が絡むアクシデントが発生し赤旗が掲示されレースは一度中断となり、【#180 RT1】へ【#700 RT2】ともにホームストレート上に停車となってしまふ。ここで、ピットインをしていたチームとで大きく明暗が分かれることになった。

またしても各チーム作戦変更を余儀なくされる。再開は14時4分。再びローリングスタートにより後半戦がスタート。作戦を変更し【#180 RT1】 【#700 RT2】ともにピットイン。給油し、【#180 RT1 は池戸選手から梅原選手】へ【#700 RT2 は井坂(信)選手から井坂(晃)】へドライバー交代。この時点で、【#180 RT1】が追い上げ79番手、【#700 RT2】が82番手を走行。

残り燃料を計算すると【#180 RT1】が2回ピット、【#700 RT2】がギリギリ1回で行けるか悩むところ。1回のピットで5分間のピットストップが義務付けられているので順位が大きく変わって来ます！

スタートから5時間30分、#180 がピットイン。給油し、【#180 RT1 は梅原選手から荒井選手】へドライバー交代。残り1時間30分。【#180 RT1】が77番手、【#700 RT2】が81番手を走行。

残り1時間10分。【#700 RT2】がピットイン。給油し、【#700 RT2 は井坂(信)選手から高橋選手】へドライバー交代。残り時間と周回数を考えると最低4.5ℓないと1回のピットで走り切れない...が残りピットリ4.5ℓ！...最後まで走り切れるかギリギリのラインですが、悩みに悩んでロングで勝負することに。

2018年の“K-TAI”も残すところあと1時間。【#180 RT1】が80番手、【#700 RT2】が85番手を走行。残り43分。【#180 RT1】が最後のピットイン。【#180 RT1 は荒井選手から阪本選手】へドライバー交代。最後、【#180 RT1 阪本選手】 【#700 RT2 高橋選手】ともにロングで勝負することになる。

残り30分。【#180 RT1】が82番手、【#700 RT2】が77番手。

残り15分。【#180 RT1】が76番手、【#700 RT2】が72番手と両車果敢に追い上げる。

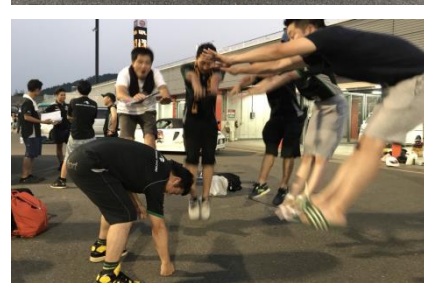
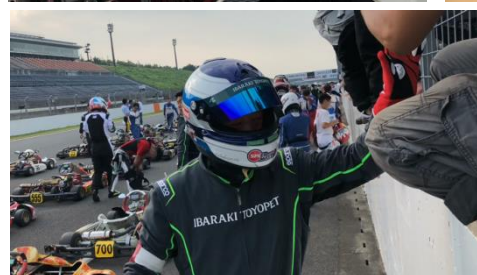
16:30 ゴール。【#180 RT1】が68位、【#700 RT2】が67位でフィニッシュ！最終ラップでガス欠の車両が多数でるなか、2台とも7時間走り切り完走を果たす。

チーム監督のコメント ～石川 一郎（営業支援部）～

“K-TAI”7時間耐久レースの結果は、RT1が68位、RT2が67位でした。ご支援、ご声援いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。スタート直後、車両トラブルでポジションを大きく下げてしまいましたが、その逆境をチームワークで乗り越え、67位/68位まで追い上げることができました。真夏の“K-TAI”7時間を走り切り、チームワークとコミュニケーションの大切さを改めて感じました。

「休日を使って、みんなでモータースポーツを楽しもう」というコンセプトで始まった社員参加型の企画だけに、終始笑顔で和気あいあいと「事故なく、ケガなく、楽しく」走れたことが、とても良かったです。

モータースポーツに興味のある方、ない方も是非参加していただければと思います。来年この“K-TAI”に、今年以上の社員の皆さんで参戦できることを楽しみにしています。



ドライバーのコメント #180 阪本 知洋 (第3営業部)

初参戦の中、社員メンバーと一緒に「ツインリンクもてぎ」のフルコースを思いっきり楽しく走れた事、40℃を超える猛暑のなか2台共にトラブルも無く無事に完走できた事、ご支援頂いた多くの皆様に心より感謝申し上げます。今後も TOYOTA 販売店としてモータースポーツの楽しさを社内外へ伝播したいと思います。ありがとうございました。

ドライバーのコメント #700 岡本 浩一 (営業支援部)

Kart 耐久レース初参戦の目標であった「完走！そして皆んなが楽しく走れること」が達成でき、春先から準備してくれた石川監督、快く送り出してくれたサービス支援課のメンバー、そして酷暑の中、7時間走り切れるよう万全の体制で協力頂いた REON の方々に感謝です。今後は継続していくことは勿論、当社メンバーでクルマづくり～セッティングまで出来るようにして行きたいですね！

ドライバーのコメント #180 梅原 秀和 (レクサス CPO つくば)

この度は日曜の忙しい中、K-TAI に参加させて頂きありがとうございました。参加した皆さんとの一体感がとても良かったです。誕生日翌日のレースということで、40歳のとても良い思い出になりました。もし、お許しが出るなら来年も是非参加したいです。

ドライバーのコメント #700 石黒 泰介 (つくば東大通り店)

店長、店舗スタッフの皆さんのご協力により、K-TAI に参加させていただく事ができました。ご支援頂いた皆様に心より感謝申し上げます。社員チームで参加出来たことは、とても有意義な事だったと思います。今後も機会があれば積極的に参加出来ればと思います。ありがとうございました。

ドライバーのコメント #700 高橋 雄大 (つくば西大橋店)

今回18回目を迎える K-TAI7 時間耐久レースに参加させていただきありがとうございました。モータースポーツの基礎であるカートの大会を多くの社員メンバーと経験することができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。メカニック要員などカツカツで苦勞する部分も多々ありましたが、最後はみんな笑顔で完走することができたのが何よりだったと思います。来年は、燃費良く速い走りができるのもっと上位を狙えるのかなと思いましたので、参加できる際は頑張りたいと思います。

ドライバーのコメント #700 井坂 信弥 (土浦並木店)

今回のイベントに参加にあたって、こんなに楽しいとは、思いもしませんでした。単純に、走ってワイワイのようなものではなく、本格的とは！初参戦で2チームとも良い成績を収めたと思います！次戦も参加させて頂きたいと思います。K-TAI7 時間耐久レースに参加させていただきありがとうございました。

ドライバーのコメント #180 大里 健太 (レクサスつくば)

今回 K-TAI に参加するにあたって協力して下さった全ての方に感謝します。素晴らしい経験ができてとても良かったです。今後もモータースポーツに参加できる機会があれば、是非とも参加したいと思います。ありがとうございました。

ドライバーのコメント #180 池戸 誉 (水戸千波店)

今回 K-TAI に参戦するにあたりご協力頂いた皆様ありがとうございました。大きな大会でしたが、無事全員で完走する事が出来てまずは一安心しました。しかし、レースで勝つ事の難しさも痛感させられた一日でもあります。私同様、未経験の方でも気軽に楽しめる魅力がカートにはありますので、興味がある方は是非!!

ドライバーのコメント #180 荒井 智博 (つくば東大通り店)

K-TAI に参加するにあたり協力していただいた店舗スタッフ、関係者の皆様ありがとうございました。カートの動かし方、コース攻略等色々と難しかったですが、多店舗の方々と協力し合って楽しく走行する事ができました。今回学んだ事を生かし来年もみんな楽しく参加できればと思います。